

◎ 精神障害者の地域移行支援・地域定着支援について

保健・医療分野と福祉分野の連携の推進策などを検討する。

現 状

地域相談支援（地域移行支援・地域定着支援）の実施状況

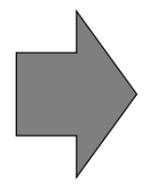
○平成 26 年 3 月実績全国順位

地域移行支援 5 件(24 位/47 都道府県。平均 10.9 件)  
地域定着支援 33 件(11 位/47 都道府県。平均 37.6 件)

○精神障害者の地域相談支援の実績がある市

(H26.7～H27.5 審査分)

10 市/愛知県内 54 市町村



今後の取組等

- 精神科病院の P S W、保健所職員等の関係者が、地域移行支援に関する研修を一緒に受講したことで、地域のチームで顔の見える関係ができて相談しやすくなったとの研修アンケート結果が出ている。小さなチームでもいいので 1 事例 1 事例を大事に進めていくことが大事
  - 地域移行支援の実績が全くない市町村があることから、保健所、相談支援事業所と連携の上、地域生活移行支援対象者がいる市町村に対し 1 年に少なくとも 1 人以上は実績を挙げていただく。
  - 結果的に地域移行支援の実績が上がらなかった市町村に対しては、どのような取組を行ったのかを確認することとし、何もやらずに済んでしまう市町村がないようにする。
  - 地域アドバイザーが地域の基幹相談支援センターを巻き込んで、市町村自立支援協議会の地域移行支援への取組を後押しできるとよい。
- ≪障害者相談支援アドバイザー会議において、同会議の今年度の検討・情報共有事項とした。≫

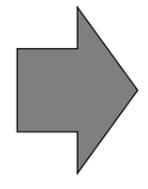
◎ 地域生活支援拠点の整備について

地域移行・地域定着の受け皿として、また、地域の障害者の重度化、高齢化を視野に、そのあり方などを検討する。

現 状

第 4 期市町村障害福祉計画の地域生活支援拠点数の目標設定

名古屋圏域：市単独設置・面型 4 つ  
 海部圏域：圏域で設置・面型 1 つ  
 尾張中部圏域：圏域で設置・拠点型 1 つ（面的含む。）  
 尾張東部圏域：市単独設置・拠点型又は面型 6 つ  
 尾張西部圏域：市単独設置・拠点型又は面型 2 つ  
 尾張北部圏域：市単独設置又は圏域で設置・拠点型又は面型  
 知多半島圏域：市単独設置又は複数市町で設置  
 西三河北部圏域：市単独設置又は圏域で設置  
 西三河南部東圏域：市単独設置又は圏域で設置  
 西三河南部西圏域：市単独設置又は圏域で設置  
 東三河北部圏域：圏域で設置・面型 1 つ  
 東三河南部圏域：市単独設置又は圏域で設置



今後の取組等

- 地域生活支援拠点の具体的な中身について、情報が不足している中、部会においては情報収集に努め、地域での議論の参考となるような情報を提供していく。
  - 市町村に対して地域生活支援拠点の整備について、検討スケジュールの照会を行い、市町村における計画的な進行管理を促す。
  - 地域アドバイザーが専門アドバイザー制度を活用するなどして、市町村自立支援協議会に対して支援する。
- ≪障害者相談支援アドバイザー会議において、同会議の今年度の検討・情報共有事項とした。≫

